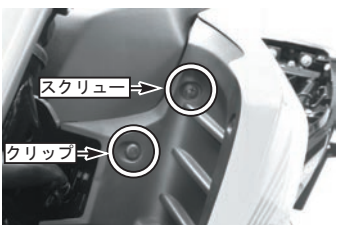
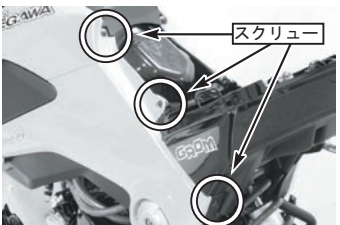


</

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

車両をメンテナンススタンドなどで、車体を安定させてください。メインキーを乗車時左にある鍵穴に差し込み、ロックを外すことでシートが外れます。

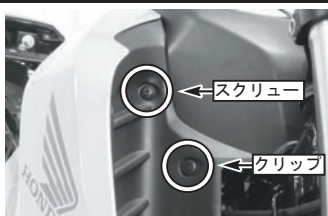
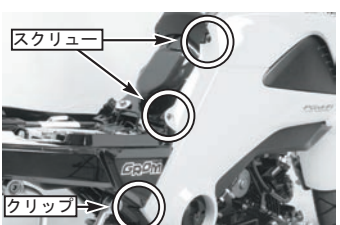
乗車時左側のシュラウドを外します。下写真のスクリーンとクリップを取り外すことで、シュラウドが外れます。クリップは中央を押すことで外れます。



乗車時右側のシュラウドを外します。車両中央にあるカバーを外し、中にあるネジを外します。



下写真のスクリーンとクリップを取り外すことで、シュラウドが外れます。クリップは中央を押すことで外れます。



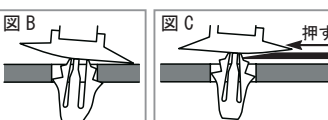
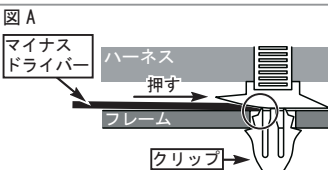
乗車時左側にキャッチタンクステータを取り付けます。取り付け位置にあるハーネスコードをハーネスコード固定クリップと共に取り外します。



図Aのようにクリップを引っ張らずにマイナスドライバーなど細いものを使用し、クリップのストッパー部分を押し込みます。確実に押した状態で、軽く引き上げます。図Bのように片側のクリップが少し引き上がった状態で止めます。図Cのように逆方向からクリップのストッパー部分を確実に押し、クリップを引き抜きます。

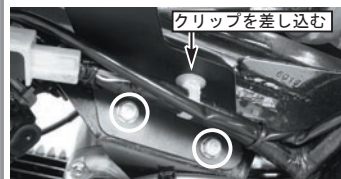
クリップの取り外しが困難な場合は、カットして頂き、付属のタイラップでハーネスをステーに固定します。

ストッパー部を押した状態で引き上げる



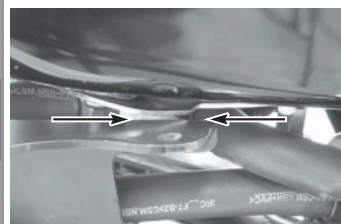
ハーネスコードを外すとネジ穴が2ヶ所できるので、フランジボルト 6x12 を2本使用し、キャッチタンクステータを取り付けます。ステーはハーネスの裏側になります。又、キャッチタンクステータの上部裏側にあるフューエルホースが折れない位置に固定して下さい。

外したハーネスコード固定クリップを取り付けたキャッチタンクステータにはめ込みます。クリップをカットした場合は、付属のタイラップでハーネスをステーに固定します。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

車両の個体差によりキャッチタンクステータ上部がフューエルポンプステータに干渉する場合があります。下写真のようなクリアランスが必要になります。



キャッチタンクステータ上部がフューエルポンプステータに干渉する場合の対処法

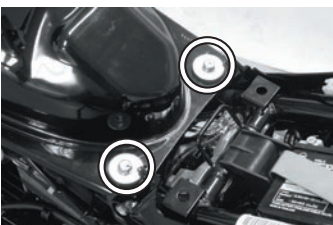
付属のワッシャー(10mm)を使用し、フューエルタンクを上げる必要があります。

フューエルタンクの前にあるボルトナットを緩めます。



■取り付け要領

フューエルタンクの後側のボルト2本を外します。



フューエルタンクの後側を持ち上げ、フューエルタンクの下に片側1枚ずつワッシャーを入れて下さい。後ろのボルトを仮締めし、フューエルタンクの前側を少し上に持ち上げながら、前のボルトナットを本締めして下さい。最後に後ろのボルトを本締めして下さい。

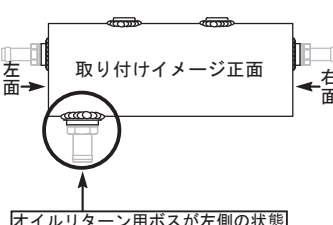


▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フューエルタンク前側ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

フューエルタンク後側ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

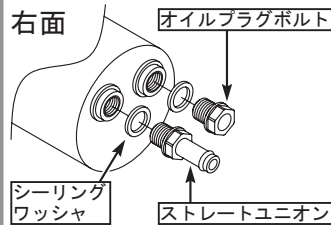
キャッチタンクにユニオン類を取り付けます。必ず、タンク単品の状態で行って下さい。ステーにタンクを固定した状態でユニオンを装着した場合、ステーが曲がる恐れがあります。

下図のようにキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスが左側にある状態で右面と左面とし、ユニオンの取り付けを説明します。

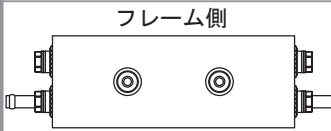
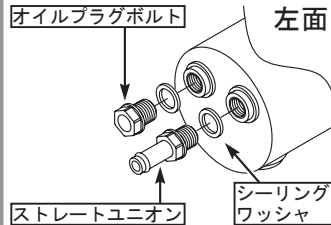


オイルリターン用ボスが左側の状態

オイルキャッチタンクの右面にシーリングワッシャー 10mm、オイルプラグボルト M10x1.25、ストレートユニオン M10x1.25 を取り付けます。フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。

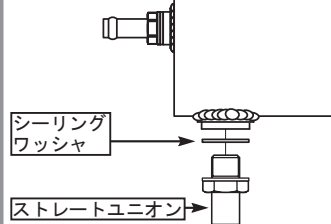


オイルキャッチタンクの左面にシーリングワッシャー 10mm、オイルプラグボルト M10x1.25、ストレートユニオン M10x1.25 を取り付けます。フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。
※シリンダーヘッド部からブリーザーホースを取り出す場合は4ページ目も参照して下さい。



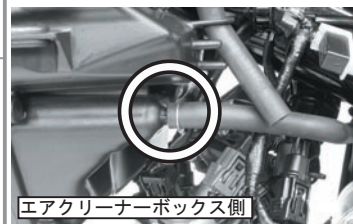
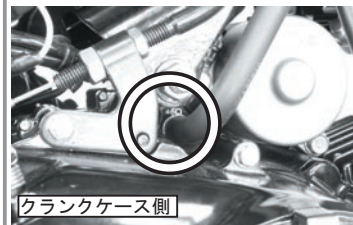
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
M10 ユニオン / プラグボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

オイルキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスにシーリングワッシャー 12mm とストレートユニオン M12x1.0 を取り付けます。

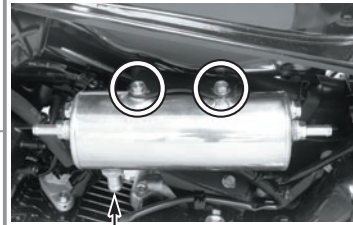


▲注意：必ず規定トルクを守る事。
M12 ユニオン
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

クランクケースとエアクリーナーボックスをつないでいる純正ホースを取り外します。



フランジボルト 6x12 を使用し、オイルキャッチタンクの底にあるオイルリターン用ボスがフロント側になるようにオイルキャッチタンクをキャッチタンクステータに取り付けます。



▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

ブリーザーキャップ COMP. に付いているOリング 18mm にエンジンオイルを薄く塗布して下さい。
ノーマルオイルレベルゲージを外し、ブリーザーキャップを取り付けます。

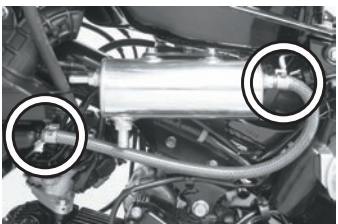


▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーザーキャップ COMP.
トルク：8N・m (0.8kgf・m)

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

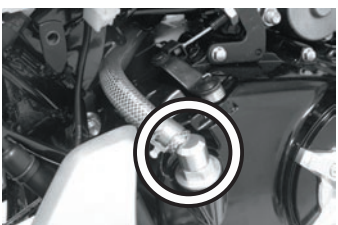
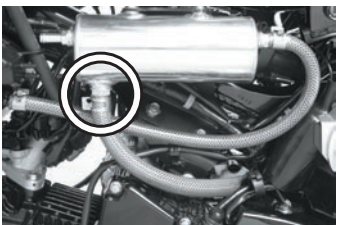
ブレードホースφ8を適当な長さ(目安39cm～41cm)にカットします。ホースの先端2ヶ所にホースクランプφ13を通し、先ほどエアクリーナーボックスに純正ホースが取り付けられていた部分(左写真:エアクリーナーボックス側)に取り付けます。

ホース反対側をキャッチタンク後ろ側(右面)のストレートユニオンにつなぎます。取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



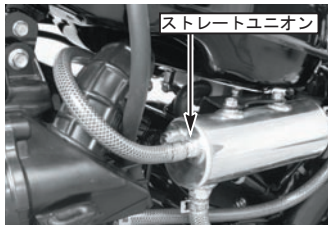
ブレードホースφ12を適当な長さ(目安40cm～42cm)にカットします。ホースクランプφ15.5をホース片方に取り付けオイルリターン用ユニオンに取り付けます。

ホースクランプをつけずにフレームとクランクケースの間に通し、クラッチ側へホースを送ります。ここで、ホースクランプφ15.5を取り付け、ブリーザーキャップCOMP.につなぎます。取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。

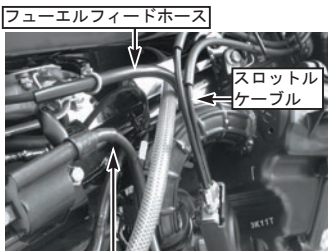


注意
クラッチワイヤー、リリースアームに干渉しないようにホースの取り回しを行って下さい。

ブレードホースφ8を適当な長さ(目安58cm～60cm)にカットします。ホースの片方にホースクランプφ13を通し、キャッチタンク前側(左面)のストレートユニオンにつなぎます。ホースクランプをつけずにフューエルタンクとフレームの間に通し、クラッチ側へホースを送ります。



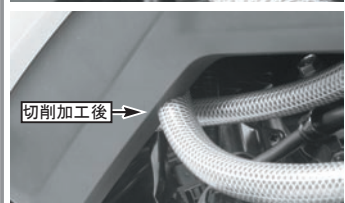
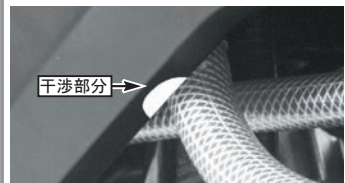
下写真のようにフューエルフィードホースとスロットルケーブルの背面を通り、イグニッションコイルの上に出します。



ここで、ホースクランプφ13を取り付けます。先ほどクランクケースに純正ホースが繋がれていた部分にホースをつなぎます。取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



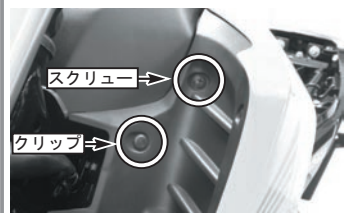
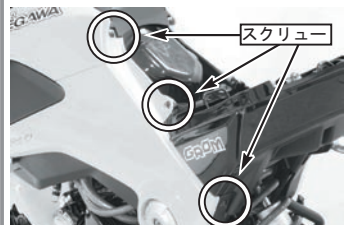
乗車時左側のシュラウドカバーのロアカバー部分を加工します。通常の取り付け位置にシュラウドをあて、オイルリターンホースの干渉する部分を削ります。下写真は加工例



左右のシュラウドとシートを取り付けします。左右のシュラウド共に裏側のクリップがついているか確認します。無い場合は車体側についている為、外してシュラウドに取り付けます。



乗車時左側のシュラウドを装着します。クリップを車体に確実にはめ込み、スクリューとクリップで固定します。シュラウドの内側にエアクリーナーボックスへの差込みフックがあります。



■取り付け要領

▲注意:必ず規定トルクを守る事。
シュラウドのスクリュー
トルク:4.2N・m(0.42kgf・m)

乗車時右側のシュラウドを装着します。クリップを車体に確実にはめ込みます。車両中央にある(下写真)のボルトを締め付けます。

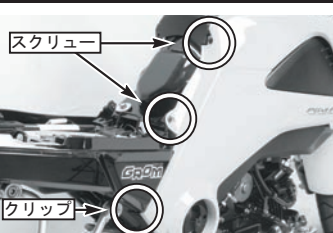


▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク:12N・m(1.2kgf・m)

カバーを取り付け、スクリューを締め付けます。



▲注意:必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク:5.2N・m(0.52kgf・m)



▲注意:必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク:4.2N・m(0.42kgf・m)

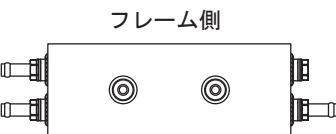
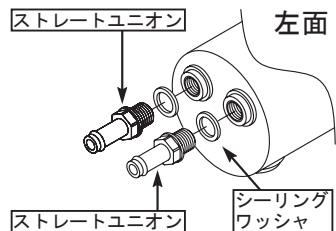
シートを取り付けます。

■取り付け要領 ※細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

弊社製スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッド又は弊社製タペットブリーザーカバー装着車の場合は下記を参照して下さい。

シリンダーヘッドからブリーザーホースを取り出す場合、弊社製スーパーヘッド 4V+R シリンダーヘッド又はノーマルヘッドに弊社製タペットブリーザーカバーを装着する必要があります。ホース接続用のバンジョー、バンジョーボルトはスーパーヘッド 4V+R キット又はタペットブリーザーカバーに付属しています。

オイルキャッチタンクの左面にシーリングワッシャー 10mm、ストレートユニオン M10x1.25 を取り付けます。フレーム側にオイルプラグボルトを取り付けて下さい。

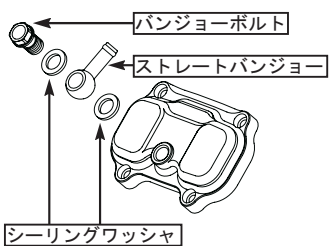


▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
M10 ユニオン / プラグボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

下写真の状態までのステーの取り付け、各ブリーザーホース、ブリーザーキャップの取り付けは前ページの方法と同じです。



タペットブリーザーカバーにストレートバンジョー、バンジョーボルト、シーリングワッシャーを取り付けます。



▲ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：13N・m (1.3kgf・m)

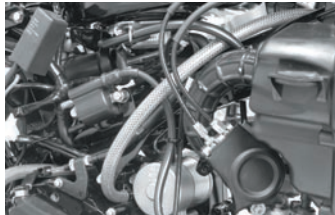
ブレードホースφ8を適当な長さ(目安 28cm)にカットします。ホースの片方にホースクランプφ13を通し、キャッチタンク前側(左面)の奥にあるストレートユニオンにつなぎます。ホースクランプをつけずにフレームの下を通し、シリンダーヘッド側へホースを送ります。



ここで、ホースクランプφ13を取り付け、タペットブリーザーカバーにつなぎます。取り回しやホースのねじれや折れを確認後、ホースクランプで確実にホースを固定します。



下写真のように、クランクケースへのブリーザーホースの取り付けは前ページの方法と同じです。



その他、シュラウドの加工方法、シュラウドとシートの取り付け方法は前ページの方法と同じです。